

中野区では2015年10月より 妊娠・出産・子育てトータルケア事業を開始しました

中野区では、妊婦さんとそのご家族が安心して赤ちゃんを迎えられるよう、また子育てができるように専門スタッフが妊娠期から相談をお受けし、お一人おひとりに適したきめ細かなサービスを提案しています。

妊娠

赤ちゃんを迎えるまでの



出産

産後ケア事業



育児期

まずは妊娠届を出して母子健康手帳を受け取ります

健康を しっかりチェック

●妊婦健康診査・妊産婦歯科健康診査

区内在住の全ての妊婦（歯科は妊産婦）が対象。医療機関で受診を。
【妊婦健康診査】妊娠確定後の初回検査から計14回の検査を助成
【妊産婦歯科健康診査】妊娠中～出産後1年以内に利用可

もうすぐママの みなさんに電話します

●電話相談「プレママコール」(新規)

区内在住の妊娠20週以降妊婦が対象。すこやか福祉センター職員に
体調面その他の心配事の相談やサービスの情報提供を受けられます。

「かんがるープラン」の作成・産後ケア事業の利用登録

●妊娠中に面談を行った方へ、
「妊娠・子育て応援ギフト券(1万円相当)」が区から贈呈されます。

産前サポート事業、各種教室などに参加

●こにちは赤ちゃん学級

初めて赤ちゃんを迎える両親・家族が対象(妊娠
16週～36週の参加がお勧め)。沐浴実習、パパ
の妊婦体験など、すこやか福祉センターで。

●マタニティケアクラス(新規)

初めての赤ちゃんを迎える妊娠28週～36週の方
が対象。日曜日に開催。安産を目指した身体
づくりやおっぱいの手入れなど、堤式助産母乳
育児相談処(新井2-5-4)で。

●妊婦さんのためのゆるりヨガ&ストレッチ(新規)

妊娠20週以降で経過が順調な方が対象。
中部すこやか福祉センターで。

●プレパパ・ママ講座(新規)

先輩パパ・ママからお産や育児の話を聞くなど参加者同士の
交流を、中部すこやか福祉センターで。

●妊婦さんの歯っぴいお食事講座(新規)

お口のケアや食事・栄養などの体験・試食を、すこやか福祉
センターで。

出生届と出生通知表(母子健康手帳と共に交付)を提出します

みなさんのお宅を訪問指導員が訪問

●こにちは赤ちゃん訪問 生後4ヶ月位が全員が対象。
出生通知表をもとに事前連絡の上で訪問します。

産後ケア事業

◆ショートステイ(新規)

生後4ヶ月以下が対象。出産後に
体力的に自信がない方、家族の手
伝いを見込めない方などが、宿泊
して、赤ちゃんのケアと母体の回復
ケアを受けられます。(延べ5日以内。
利用料1日3,000円)。松ヶ丘助産院
(松ヶ丘1-10-13)で。

◆デイケア(新規)

生後4ヶ月以下が対象。ママと赤ちゃんの
休養・回復のため、母乳・育児相
談等を日帰りで利用できます。(延べ
5日以内。利用料1日1,000円)。松
ヶ丘助産院、堤式助産母乳育児
相談処、中部・南部すこやか福祉
センターで。

◆ケア専門家派遣(新規)

生後6ヶ月以下が対象。家事や赤ちゃん、
上のお子さんの世話や育児相談
など、知識・技術を持った専門家から、
家庭の援助を受けられます(延べ15
時間以内。利用料1時間1,000円)。
自宅。※いずれも、住民税非課税
世帯等への助成あり

産後サポート

◆赤ちゃんが来た!(新規)

初めての育児中で生後2ヶ月～5ヶ月児のいる方が対象。赤ちゃんの
育ちや生活、悩み等を保育士等と一緒に情報交換する、週1回、
4週連続の講座。すこやか福祉センター、児童館で。

◆ほっこりーの(新規)

生後4ヶ月以下の赤ちゃん和妈妈が対象。助産
師と一緒に授乳や健康管理について気軽に
情報交換。すこやか福祉センター等で。

乳幼児健診、保健師等による継続支援、子育てひろば、各種相談・教室、グループ交流等

なかの子育て応援メール

出産予定日やお子さんの誕生日を登録すれば、おなかの赤ちゃんの様子や育児のアドバイスをメールでお届けします。
下記アドレスに空メールを送信すると、折り返し登録手続きのメールが届きます。



QRコードが読み取れない場合は、
以下のアドレスに送信してください。

<妊娠期>
nakano@reg.kizunamail.com



QRコードが読み取れない場合は、
以下のアドレスに送信してください。

<子育て期>
nakano_kosodate@reg.kizunamail.com

【お問合せ】●子ども教育経営担当 ☎3228-5605

小林ぜんいち NEWS

— KOMEITO —
公明党

第20号

2016年4月発行
中野区公明党議員団



中野区議会 第1回定例会で 平成28年度予算を可決 一般会計当初予算は、1283億1200万円(前年度比3.3%減)

中野ゼロホール西館に、念願のエレベーター設置予定

■公明党が取り組み前進した主な事業

【子育て・学校・教育】

- 妊娠・出産の理解促進のため、産婦人科医による講座等の実施
- 子育て相談窓口の充実と子育てコンシェルジュの設置
- 園庭のない保育施設の屋外活動場所の確保
- 小中学校の特別教室冷房機設置の拡充
- 学校トイレの様式化促進
- 小学校の水飲栓から美味しい水を提供出来る直結給水の拡充
- 小中学校の非構造部材の耐震対策拡充
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
- 生活困窮世帯の中学3年生へ学習支援事業の拡充
- 学力向上を図るため、学習支援員による学習支援の拡充
- 小学校通学路へ防犯カメラ設置拡充

【健康・福祉】

- 中野ゼロホール西館エレベーター設置
- 地域包括ケア体制推進に向け専門部署の設置
- 区有地を活用した重度障害のある方が利用できるグループホーム等の整備
- 福祉タクシー券と福祉ガソリン券の選択制度導入
- 南部地域にすこやか福祉センター、区民活動センターの整備開設
- 南部地域に障害児通所支援施設の整備開設

【防災・まちづくり】

- LED化に合わせ商店街街路灯撤去費用助成制度の創設
- 大型消火器に代わるスタンドパイプの配備推進
- 特定空き家の掌握・指導、利活用等の相談体制の拡充
- 不燃化特区地域大和町中央通りで建替え助成制度の充実
- 平和の森公園再整備と未開園区域に新体育館整備
- 区内大規模公園の整備拡充
- 中野駅周辺と西武新宿線沿線のまちづくりの推進

【特殊詐欺のウソ電話が多発中!】(中野区防災・都市安全分野から)

★中野区内に、息子を騙る者からの「オレオレ詐欺ウソ電話」が多発しています。
☆中野区役所や社会保険庁を騙る「還付金詐欺のウソ電話」も増えています。

★電話の内容

- カバンを置引きにあったしまった、電車内にカバンを忘れたなど。
- 急いでいるんだ、お金用意できる?
- これから取りに行こうと思うんだけど

☆還付金詐欺は、ATMに行くように指示し、
その後ATMを操作させる手口がほとんどです。

★被害防止のために

息子や孫を騙って「電話番号が変わった」「すぐにお金が必要」などと電話
があった場合は、慌てずに言われた電話番号ではなく、以前から使っていた
電話番号に確認の電話をしましょう。

☆たとえ少額でも還付金をATMを操作させて返還することは絶対にありません。

お近くの方が被害に遭われているかもしれません。
不審な電話があったらすぐに110番通報しましょう。



小林 ぜんいち

■議会役職等

公明党議員団副幹事長
議会運営委員会副委員長
区民委員会委員
区役所及び体育館整備調査特別委員会委員
中野区土地開発公社評議員
中野区民生委員推薦委員会委員

■経歴

宮本忠長建築設計事務所東京事務所に
16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等
設計監理や住宅設計等に從事。



■所属団体等

(社)日本建築学会正会員
(社)東京建築士会正会員
福祉住環境コーディネーター協会会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士会会員
早稲田大学稲門建築会会員
中野稲門会会員
中野区長野県人会副会長

HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi
Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi
Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

中野区議会 議会報告 平成28年 第1回 定例会



一般質問(2016.02.22)

一般質問項目

1. 中野のまちづくりについて

- 1) 中野駅南口のまちづくりについて
- 2) 区役所・サンプラザ地区再整備のまちづくりについて
- 3) 中野区内のまちづくりについて

2. 空き家の対策について

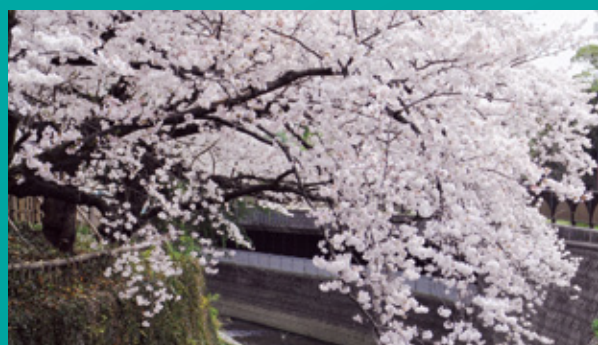
3. 防災対策・安否確認について

4. 国家戦略特区を活用した「民泊」について

5. 国際友好交流について

6. その他

- 1) シルバー人材センターについて



小林ぜんいち 平成28年 第1回定例会 一般質問から

中野のまちづくりについて



【中野駅南口のまちづくりについて】

小林 まちの皆さんのご要望等も聞きながら変わって行くまちに合わせ、まちの安全性・防災性の強化、相互交通の出来る道路幅員への拡張、回遊性を考慮した交通網の整備、用途地域の変更など大胆な検討を行うべきと考える。千光前通り沿道のまちづくりにおいて地区計画等で行えるまちづくりを具体的に示してはどうか。

区長 再開発地区と接続する千光前通り沿道のまちづくりについても地区計画等のまちづくりを進めるべきと考える。地域のまちづくり勉強や意向調査を通じて、周辺の状態変化を適切に捉え地域に示していきたい。

【区役所・サンプラザ地区再整備のまちづくり】

小林 中野サンプラザは永年親しまれ、ホール機能については残してほしいとの声も聞く。単にアリーナとかホールとか結論付けず、中野区にふさわしい施設としたらどうか。

区長 再整備に当たっては、積み重ねてきたブランドを生かしながらより多目的に使える大規模な集客交流施設として整備し、集客力と発信力を図っていきたい。

小林 区役所・サンプラザ地区再整備におけるアリーナの施設計画については、施設計画において早い段階から専門家集団の導入を図り、コスト抑制と利益の出る施設検討、リスクの少ない計画を検討をすべきではないか。

区長 事業構築パートナーからの提案を参考にしながら、再整備実施方針を検討をすすめてきた。

小林 再整備を進めていくうえで、土地と建物床を上手く活用し事業を成立させることがポイントと考えるが、どうか。

区長 公共基盤の整備とともに公的財産の確実な運用を行うため、区画整理事業や市街地再開発事業など、法定の面整備事業の適用を検討している。

空き家対策について



【住宅相談アドバイザーでワンストップの空き家対策を】

小林 空き家及び、将来空き家になってしまうおそれのある建物相談や管理者が区外に住んでいる場合の継続的な見守り支援は、防犯・災害対策上必要と考える。「住宅相談アドバイザー」を、ワンストップで建築展開のできる専門家に依頼してはどうか。

区長 区内の建築や不動産等関係者・団体の協力を得ながら、相談窓口の設置や専門家の活用等に取り組みたい。

【リノベーションによるまちづくりについて】

小林 まちの中へリノベーションの新たな潮流を作っていくことが、今後のまちづくりでは大事である。空き店舗・空き家の利活用を積極的に行い、乳幼児から高齢者、障害者等への施設へリノベーションし、住環境向上のためのまちづくりを行うべきではないか。

区長 地域の特性に応じた様々な利活用の方法を検討する必要がある、どのような支援が有効か検討したい。

災害対策・安否確認について



【避難所開設会議と運営体制の充実を】

小林 町会・自治会防災会が中心となり行う避難所運営会議が確実に避難所が開設できるよう、避難所運営会議の回数を増やし、具体的な運営体制の取り組みを図ってはどうか。

区長 避難所運営会議とともに避難所運営訓練も毎年実施している。災害発生時に、着実な避難所の開設・運営が行われるよう避難所運営会議及び訓練内容を検討したい。

【安否確認を円滑に行う新たなシステムを導入を】

小林 マイナンバーとタブレット端末を活用した安否確認を、短時間で重複なく出来るシステム「COCOA(ココア)」を導入し、避難所の避難者の情報や安否確認を行ってはどうか。

区長 ICTの活用については提案のシステムも含め研究していきたい。

国家戦略特区を活用した「民泊」について



小林 民泊の誘導にあたっては、対象区域や条例を定めるとともに、良好な住環境を維持することを最優先に考え、事業のガイドラインなどを整備すべきではないか。

区長 先行している大田区の状況等を注視しながら、安全・安心かつ実効性のある民泊制度を構築したい。

小林 「民泊」と「地域」をつなぐ、「宿泊する外国人をはじめとする旅行者」と「地域住民」をつなぐ、連携を都市観光や産業振興の観点から取り組むことが必要だと考えるが。

区長 周辺商店街や地域イベントに誘導出来る様な情報提供など、消費拡大につながる都市観光施策と連携していく。

国際友好交流について



小林 中野区は、ソウル特別市陽川(ヤンチョン)区とも平成22年11月に都市間姉妹締結を行い、友好交流を行ってきた。両区の発展と福祉の推進を図るとともに、日韓両国の友好親善と交流を深める新たな交流を行ってはどうか。

区長 双方の状況を踏まえ、今後の交流について考えていきたい。(3月に平成28年度に陽川(ヤンチョン)区との交流計画予定が発表されました。)

【シルバー人材センターについて】

小林 法的名称もあるが、イメージアップやPRのため、中野区独自で親しみやすい名称を区民の皆さんに提案して頂くなど考えてどうか。

区長 シルバー人材センターの更なる活性化を図っていくうえで、同センターと協議する中で提案を紹介する。

小林 今後は中野駅周辺のまちづくりが進み交通の利便性が高まり、区内各地の会員や区民に利用されやすく、区や関係機関との調整が取れやすい中野駅周辺へ移転を検討してはどうか。

区長 将来のシルバー人材センター本部の配置については、今後検討していきたい。